

[テーマ]

宗教と平和

公開講座 春秋講義

4月6日(水)

仏教は平和に寄与しうるか？

——ブータンの事例を中心に

熊谷 誠慈 京都大学こころの未来研究センター特定准教授

4月13日(水)

「戦争と平和」の時代とキリスト教

芦名 定道 京都大学文学研究科教授

4月20日(水)

平和・愛・共存を求める

イスラームのもうひとつの顔

東長 靖 京都大学アジア・アフリカ地域研究研究科教授

[会場]

京都大学百周年時計台記念館

百周年記念ホール(京都市左京区吉田本町) TEL 075-753-2285

[受講定員] 500名(各講義とも当日先着順)

※当日の入場状況によって、入場制限や立ち見のお願いをさせていただく場合がございます。

あらかじめご了承ください。

[時間] 18:30—20:00(開場18:00)

受講料無料・申し込み不要

「テーマ」 宗教と平和

京都大学 公開講座 春秋講義 平成28年度春季講義

春秋講義は、京都大学における学術研究活動の中で培われてきた知的資源について、広く学内外の人々と共有を図るため、1988(昭和63)年秋から開講しています。年に2回、春と秋にテーマをもうけて講義を行います。

[講義の概要]

4月6日(水)

仏教は平和に寄与しうるか？ —ブータンの事例を中心に—



熊谷 誠慈 京都大学こころの未来研究センター 特定准教授
[仏教学(インド・チベット・ブータン)、ボン教研究]

アジアには多くの仏教国がありますが、それらの国々も戦争や民族問題と無縁ではありません。仏教は、そうした問題に対してどのような役割を果たしてきたのでしょうか。本講義では、仏教教義の本質に深く迫るとともに、仏教国の現状にも光をあて、仏教が現実的にどう平和に寄与しうるのかを考えてみたいと思います。特にブータンという国に注目し、具体的な事例を紹介しながら考察を進めていきます。

4月13日(水)

「戦争と平和」の時代と キリスト教



芦名 定道 京都大学文学研究科 教授
[キリスト教学、近現代キリスト教思想、宗教哲学]

キリスト教は、その長い歴史のなかで、多くの戦争に関わってきました。「戦争と平和」の時代を生き延びてきたキリスト教について、本講義では、絶対平和主義と聖戦論という一見矛盾した二つの立場がキリスト教に同時に見出されることをどのように理解したらよいか、という問題を取り上げます。特に、古代キリスト教(1世紀と4世紀)、明治時代の日本キリスト教(内村鑑三)、そして現代キリスト教に注目します。

4月20日(水)

平和・愛・共存を求める イスラームのもうひとつの顔



東長 靖 京都大学アジア・アフリカ地域研究研究科 教授
[イスラーム学、中東地域研究、スーフィズム研究]

イスラームというと、血なまぐさい戦争・テロのイメージがついてまわりますが、それはイスラームの特殊な一部分にすぎません。多くのイスラーム教徒は、平和と平安を願って生きています。今回は、イスラームのもつ豊饒な精神性・内面性に注目してみましよう。イスラーム神秘主義(スーフィズム)などを取り上げながら、新しいイスラームのイメージをもっただけのように、お話ししたいと思います。

[会場]

京都大学百周年時計台記念館 百周年記念ホール

(京都市左京区吉田本町) TEL 075-753-2285

- ◆市バス 系統31・65・201・206「京大正門前」下車
系統3・17・203「百万遍」下車
- ◆京阪電車、叡山電鉄「出町柳」下車、徒歩20分
- ◆地下鉄東西線「東山」下車、徒歩約25分もしくは
市バス系統31・201・206「京大正門前」下車

※駐車場はございませんので、公共の交通機関をご利用ください。



「公開講座お知らせメール」について

京都大学総務部渉外課では、ご登録いただいた方に、公開講座など開催ごとにメール、FAXで情報をお知らせします。メールでの案内をご希望の方は、公開講座等ホームページ(http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/social/open_course/)の「公開講座お知らせメール受付」ページ内「公開講座お知らせメール登録受付」のフォームからお申し込みください。FAXでの案内をご希望の方は、「公開講座案内希望」と明記の上、氏名(フリガナ)、郵便番号、住所、電話番号、FAX番号を記入し、075-753-2246まで送信してください。